

令和6年7月23日「地域医療啓発事業 出前講座」開催

大津緑洋高等学校大津校舎にて、「地域医療啓発事業 出前講座」を開催いたしました。この講座では、地域医療の第一線で活躍されている医師から、山口県内の医療の現状や命の大切さの講話と、あわせて志しを同じくし、医療人を目指している医学生へのメッセージを届け、地域医療への関心を高めてもらおうと開催し、大津校舎の生徒約30人の参加がありました。

講師には、山口県立総合医療センターへき地医療支援センター長の原田昌範医師とともに本校卒業生である山口大学医学部6年生の松尾真結さんをお迎えし、「キャリア教育～ふるさとの命を守る処方～」と題し講話をしていただきました。

原田昌範医師から、山口県のへき地医療の現状と課題、近年の医療DXについての説明とともに、自らが医師を志した経緯や経験談も交えながら、地域の医療を通じ、命を守る大切さについてお話がありました。

医学生の松尾真結さんからは、参加生徒からの受験勉強のコツや、大学生活の様子、授業カリキュラムなどの質問に、自身の経験からアドバイスを兼ねたお話をしていただきました。

